

2020年11月13日

国際石油開発帝石株式会社
広報・IRユニット
(電話 03-5572-0233)

両毛ライン複線化（第一期）の決定及び、
新東京ライン延伸（第五期）・両毛ライン複線化（第二期）に向けた
検討の開始について（お知らせ）

国際石油開発帝石株式会社（以下、当社）は、天然ガス需要の堅調な伸びが見込まれる北関東地域において一層安定的な天然ガス供給を確保するため、当社が保有します埼玉県本庄市から群馬県館林市及び栃木県佐野市を結ぶ天然ガス輸送パイプライン（以下、「両毛ライン」、全長 89 キロメートル）のうち、栃木県佐野市から群馬県館林市までの区間（全長約 6 キロメートル）の複線化（第一期）による増強を決定いたしました。

また、新潟県上越市から群馬県藤岡市に至る天然ガスパイプライン（以下、「新東京ライン」、全長 213 キロメートル）の延伸（第五期）及び、「両毛ライン」複線化（第二期）について、2021 年春の計画決定に向けて事前調査を開始することといたしましたので、併せてお知らせいたします。

（1）両毛ライン複線化（第一期）の決定

「両毛ライン」は、1974 年に両毛ガス事業協同組合によって建設された天然ガスパイプラインであり、2004 年に当社が取得したのち、運営、管理しており、同ラインからは、両毛地区の伊勢崎ガス(株)、太田都市ガス(株)、桐生瓦斯(株)、足利ガス(株)、佐野ガス(株)、館林瓦斯(株)へ天然ガスの卸供給を行っております。今般の複線化により、「両毛ライン」の更なる安定した供給能力を増加することが可能となります。

【両毛ライン複線化（第一期）の概要】

区 間： 栃木県佐野市内～群馬県館林市内
距 離： 約 6 キロメートル
仕 様： 設計圧力 4.9 メガパスカル、管径 10 インチ（267.4 ミリメートル）
供 用 開 始： 2022 年末予定

(2) 新東京ライン延伸（第五期）※ 及び両毛ライン複線化（第二期）に向けた検討の開始

「新東京ライン」及び「両毛ライン」において、以下の延伸・複線化ルートや仕様を検討するものです。

※ 2014年に検討開始し、その後一時延期とした事前調査の再開

【新東京ライン延伸（第五期）検討の概要】

区 間： 群馬県藤岡市内～埼玉県本庄市内
距 離： 約 16 キロメートル
仕 様： 設計圧力 7.0 メガパスカル、管径 20 インチ（508 ミリメートル）

【両毛ライン複線化（第二期）検討の概要】

区 間： 埼玉県児玉郡上里町内～埼玉県本庄市内
距 離： 約 6 キロメートル
仕 様： 設計圧力 7.0 メガパスカル、管径 12 インチ（318.5 ミリメートル）

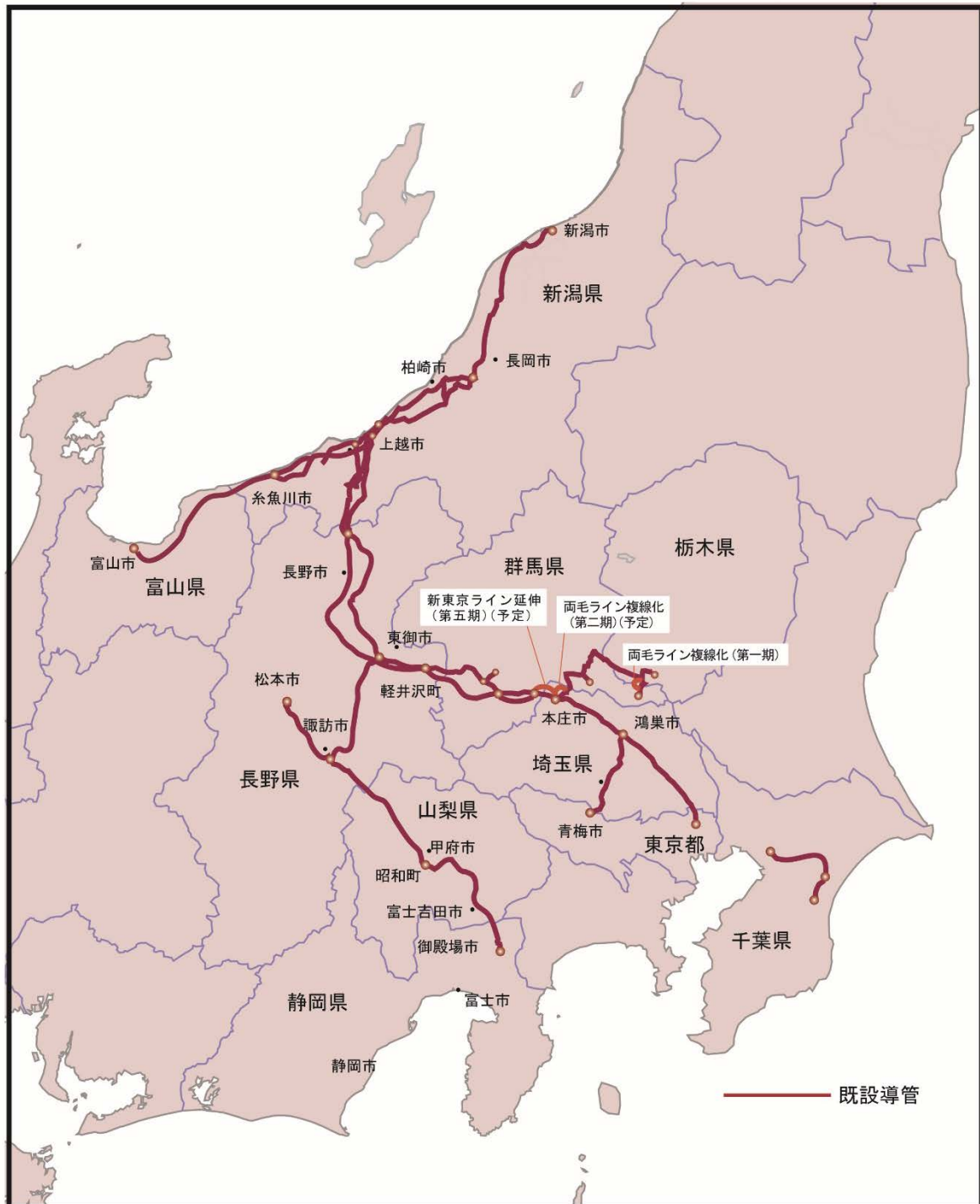
【予定】

事前調査期間： ～2021年3月（予定）
計 画 決 定： 2021年春（予定）

当社は、「ビジョン 2040」に掲げた事業目標の一つである「グローバルガスバリューチェーンの構築」に積極的に取り組み、他の化石燃料に比べて、二酸化炭素の排出が少ない天然ガスをより多くの皆様に安心して安定的にお使い頂けるよう努力してまいります。

国際石油開発帝石株式会社 INPEX CORPORATION

【当社天然ガスパイプライン】



以上